

「平成 31 年度おきなわ国際協力人材育成事業」
国際協力理解促進事業《学校訪問プログラム》実施要領

- 1 実施目的：(1)我が国が行う国際協力の理解を深めるため、国際協力の専門家や青年海外協力隊経験者による県内の学校訪問を行い、学生を対象とした講義、ワークショップを実施する。
(2)海外研修に参加した生徒自らの報告会を実施する場を提供することで、海外研修での学びを深めると共に、グローバルな視点を持ったリーダーの育成に繋げる。
- 2 実施期間：2019 年 9 月 2 日～2020 年 1 月 31 日
- 3 実施回数：20 回（予定）
- 4 実施予定校：
 - (1)国際協力レポーターがいる学校 15 校（昨年度未実施の学校優先）
 - (2)出前講座未実施で今年度のレポーターがいない学校：5 校（うち中学校 2 校）
- 5 実施内容：

実施プログラム案（50 分バージョン）

時間	内容	ねらい
5 分	導入	身近とは言えない途上国や国際協力の話を聞く体制を作る。
15 分	講義「沖縄と国際協力」	沖縄が国際貢献に取り組む理由や国際的課題等についての理解を深めてもらう。
25 分	①国際協力レポーター紹介	同世代の高校生が、海外研修を通し国際協力の現場等で何を感じたのかを知ってもらう。
① ②	②青年海外協力隊体験談	途上国での国際協力実体験をもとに国際協力の必要性を学ぶ。
5 分	アンケート記入	受講者の感想

- ① レポーターが参加した学校での講座の場合、参加者自身に体験談を実施してもらう。
- ② 2 コマ確保できた場合は協力隊の体験談 50 分と併せ 100 分の授業とし、国際理解ワークショップなどを実施する。参加生徒が居ない場合は、協力隊など国際協力経験者の講座のみを実施する。
(注：実施時間については、受入先学校との調整を行う。)
- ③ アンケート案別紙参照

以上

